

ながいき瓦版

09年4月24日発行

共同発行責任者

- ・酒井 洋樹
- ・片岡 啓治
- ・緑川 千里
- ・高 仲 茂
- ・高山 昌治
- ・小高 陽一
- ・東 間 永次
- ・柴 崎 正臣
- ・小 泉 勝

平成21年度予算が成立しました

2月2日の議会全員協議会で、村長の新年度施政方針と当初予算案が示され、議会の意見を求められていました。

議会からは「不況下にもかかわらず住民生活に配慮した施策がないのは遺憾であり、雇用対策・景気対策・村内事業者の経営支援・生活弱者の救済を早急に検討されたい」と意見を付し、14項目にわたりに要望しました。

村当局からは「村長から何も話がなかったので予算化しなかったが、議会の指摘は重要かつ緊急の案件なので、当初予算に計上したい」とのことであり、議会と各担当課で3月定例議会の直前まで検討を重ねました。

その結果、雇用対策相談室の設置・リストラによる失職者を雇用する事業者への助成金制度・中小企業の設備運転資金利子補給の拡充・低所得者の介護保険利用料の減免・延長保育料の徴収凍結などが事業化されました。

また、所得が減少した子育て世代の救援策として、保育料の値上げを凍結する予定ですが「条例改正が間に合わないので4月に値上げを実施するが、準備が整い次第、直ちに議会に提案する」とのこととで、6月以降になる見込みですが、値上げ前の保育料に負担が軽減されま



こうして修正された当初予算は、議会と役場職員が一体となって策定したものであり、不況を乗り越え、住民生活の安定を図ろうと、十分とは言えな

いまでも可能な限り今の社会情勢に配慮した予算案です。

しかしながら、3月6日の定例議会では、工事請負契約の変更に関する議案の否決を受けて関連する予算案すべてが取り下げられ、予算を審議できないまま閉会となってしまいました。

否決された議案についての意見を集約すると、次のとおりです。

事前の調査不足や設計ミスによる追加工事の発生であり、費用負担について請負業者と交渉されたい。

積算根拠が不明瞭であり、住民の血税である財源を有効に活用するために、コスト意識を高めて欲しい。

3月25日の臨時議会では、追加工事代金が5百万円余り（一割相当）減額された再提出議案が可決され、懸案の予算案もすべて可決されました。

紆余曲折を経て成立した新年度予算が、住民の生活不安解消の一助となることを願ってご報告とします。